


地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

↓ 取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>・理念に基づく運営</b>			
1. 理念と共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている		・「その人らしい快適で穏やかなシルバーライフをサポートします」という会社の理念のままです。 ・地域密着型の意義を全員で理解し、地域との関係性を強調した理念を作り上げていく。
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる		・上記理念を構築して申し送りやミーティング等の時に確認をして行く。
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる		・出来ていません。 ・理念を構築した上で、ご家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいきたい。
2. 地域との支えあい			
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている		・日頃より近所の方々とは散歩等で行き逢うと挨拶を交わすようにしています。また年末にはカレンダーをお配りしたり、ホームでの大きなイベントにはポスターを配して参加も呼びかけました。 ・ホームの日頃の様子など定期的にお知らせするような回覧、あるいはチラシなどを配信して行きたい。
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている		・毎年自治会の納涼盆踊り大会、文化祭、ふれあいサロン等に参加させていただいています。また地域の防災訓練、防犯講習にも職員が参加しています。 今までの活動を元に益々の地域との交流を広げていきたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	・特に取り組んでいる事例は有りません。		・人材育成のための実習生の受け入れなどは積極的に行ってはいるが、今後は地域に貢献という点で何が出来るか、掘り下げてゆきたい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	・評価の実施の意義は概ね理解されていると思いますが、それを活かした具体的な改善には取り組まれてはいません。		・評価の結果を全員に周知し、改善に向けて検討し実践につなげて行きたい。
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	・運営推進会議で取り上げられた事は、その経過を報告し一つ一つ積み上げて行くようにしています。		・運営推進会議をサービスの質の向上の為のツールとして更に工夫を重ねて行きたい。
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	・現時点では実施出来ていません。		
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	・昨年と今年で二名の方が保佐と成年後見の方が選任され実施されています。		・未だ、家庭の事情で中々関わる事が出来ず、いろいろな面で大変な思いをされておられるご家族もおられるので、これからも引きつずきこの制度の利点等を説明し、ご家族を側面から支援して行きたい。
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	・「高齢者虐待」のパンフレットを各ユニットに貼って虐待防止法に関心を持ってもらい、虐待が見過ごされぬよう注意を払い、防止に努めています。		・言葉遣い、言葉掛け等で時々心理的虐待と受け止められる事があるので、その都度あるいはミーティング等で改めて虐待防止に付いての意識を深めて行きたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4.理念を实践するための体制				
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>・契約の際は、ご家族に丁寧に説明をして理解と納得を頂いています。</p>		
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>・ご利用者の意見、不満、苦情を管理者としては受け入れ易く働きかけているつもりですが、外部者へ表せる機会は不十分です。</p>		<p>・家族会や運営推進会議等を通して表せる様な機会を設けて行きたい。</p>
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>・金銭管理に関しては毎月15日に決算書を各ご家族に郵送しています。また暮らしぶりや健康面などは3ヶ月に一度を目安にお手紙をお出ししています。ご家族の面会時にはその都度近況を報告しています。</p>		
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>・家族の会がまだ発足したばかりですが、そのような機会を通じてホームに意見や要望を提供していただけるようにしています。また会社からも一年に一度ていご家族へのアンケートを実施しています。</p>		<p>・面会時などに気軽に伺える雰囲気を作って行く。</p>
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>・管理者として日頃からいつでも職員の意見や提案、悩み等が話せるように心掛け、運営者に提案すべき事や職員の訴えなど、その都度報告しています。</p>		
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>・出来る限りその人のニーズに応えられるような勤務体制をと職員からの要望はありますが、残念ながら現状では叶えられません。せめて日勤帯の三人体制に努めています。</p>		
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>・基本的には各ユニットの職員を固定化して馴染みの関係のケアを心掛けています。</p>		<p>・職員の移動や離職を最小限にするために、管理者として運営者側との話し合いを積極的に進めなければいけないと思っています。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>				
19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	・以前は職員研修を定期的に行われていましたが、現時点ではそれを見直しているところです。外部への研修の働きかけは行っています。		
20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	・事業所の自主性に委ねていると思われま。埼玉県認知症高齢者グループホーム協議会への参加は呼びかけています。		
21	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	・取り組んでいるとは思えません。		
22	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	・コンピテンシー評価を導入しています。		
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>				
23	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	言葉の訴えだけではなく行動や顔の表情を観察し、不安を取り除くことに努めています。		
24	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	家族の今までの経過などを詳しく聞き、受け止めるよう努力している。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	家族や本人の希望に対し柔軟な対応を行い信頼関係を崩さないよう努力する。		
26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人が安心して今までと変わらない生活がおくれるようにご家族には事前の見学等をお勧めしている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	子供のころの遊びなどを教えていただき一緒に行っている。洗濯干しや掃除などを共に行っている。スキンシップに心がけている。		わかりやすい格言を見やすいところに大きく書いて張り共通の話題をもつようにしたい。
28	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	できるだけ家族とのコミュニケーションを多くとるようにしている。年間行事に参加していただけるよう努力している。		ご家族も参加できて大いに楽しめるイベントを増やしていきたい。
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	面会時など利用者との話しに積極的にスタッフも参加するようこころがけており、家族の要望を聞くようにしている。		
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ホームよりお便りを出したりイベントのお誘いを行っている。宗教などに入っている人は集会などに参加させている。		
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者同士の会話は難しいので歌やゲームなど共に楽しむことを提供している。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退去された方とも未永く関わりを保っていく為に、ご家族との行き来や年賀状等のお便りを出している。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	個々にお話をお聞き把握するようにスタッフが心がけている。		利用者が孤立しないようスタッフが対応していきたい。
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族からの情報や利用者の話などを書き留めている。		
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	一人ひとりの動きや顔色、訴えなどを細かく観察し、把握に努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	スタッフ間で常に情報の交換をし、家族の来訪時に利用者、スタッフ三者での話を行うよう努めている。作成された介護計画は説明のうえご家族の承認を頂いている。		単身者が多いため、本人の意向を聞く場を多くしていきたい。
37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画のモニタリングを行うのは勿論の事、現状に変化が生じた場合、家族、医師等へ連絡し対応している。		スタッフ、家族の細かい気づきに対して話し合っていきたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録にて気づき等を記入しホーム長へ口頭の申し送りを行っている。バイタル表で入浴、排便、服薬、食事の摂取量などの記録をとっている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	日用品の購入や定期受診、医療連携、通院介助や訪問理美容などの支援を行っている。要望により美容室などの付き添いなども家族の替わりに行っています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	自治会のイベント等の参加。歌やフラワーアレンジメントをボランティアにより定期的に行っている。		
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	訪問理美容サービスを定期的に行い利用している。		
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議に支援センターの方が参加され、関係が築けた。又、権利擁護に関しては社会福祉士会・ぱあとなあ埼玉と協働している。		
43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	通院介助などを積極的に行っています。病院は家族、本人の方針で決めていただいています。訪問診療、訪問看護、訪問歯科なども行っています。		主治医とのコミュニケーションを積極的に行っていきたい適切なアドバイスを受けられるようにしていきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	単身者が多いため師事医と相談し脳神経外科などでの診断を行っている。		
45 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	月四回の契約で入居者の体調管理をして、日ごろの状態などを気軽に話し合っている。		
46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	今の所病院側との話し合いで早期に退院しています。		
47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合家族と危険の可能性などを話し合いできる限りの対応に努めている。ただ医師との連携となると解決しなければならぬ問題が多々あると思います。		家族との話し合いを積み重ねていかななくてはならない問題ではあると思いますが、この問題は一ホームで解決できるような問題ではないようにも思えます。
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	グループホームとしての限度を家族に伝えられる限りの対応に努めている。		ターミナルケアについて各スタッフの理解、体制を話し合っていく必要がある。
49 住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	家族との話し合いでスムーズに行えるよう心がけている。		



項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1) 一人ひとりの尊重			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>利用者の誇りを傷つけないよう言葉使いに常に気をつけている。記録時に個人名を入れず、個人情報の取り扱いに注意している。</p>	<p>勉強会やミーティングの折りに職員の意識向上を図り、誇りやプライバシーを損ねない対応を話し合っていく。</p>
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>本人の意思を尊重できるよう話かけを行っている。</p>	
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>朝の挨拶時に本人のその日の希望をお聞きし、本人のペースに合わせて支援している。</p>	<p>利用者との話し合いの時間を多くとっていききたい。</p>
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>その日の洋服選びを共に行ったり、行為ができない人は声がけ介助を本人の意思をしながら行っている。</p>	
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>好き嫌いなどを個別に対応し代用食などで対応している。献立表を掲示して見るのを楽しみにしている。スタッフと一緒に配膳や下膳をしていただいている。利用者と共に作った菜園で取れた野菜などを調理しお出ししています。</p>	<p>ホームでは利用者のためにメニューも豊富でいろいろ工夫していただいている。これを続けていきたいと思っています。</p>
55	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>起床時にモーニングコーヒーなどをお入れしたり十時ののお茶には好みの飲み物を用意しています。</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	<p>気持よい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	<p>行動や時間帯などでトイレ誘導し、失敗を少なくしています。</p>		
57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>暖房器具などを用意して寒暖差をなくしスムーズに入浴を楽しんでいただいている。沐浴剤を使い香りや色を楽しんでいただいている。</p>		<p>見守りながら会話を楽しんでいただけるよう努力していきたい。時間帯にとらわれず希望の時に入浴できるような対応をしていきたい。</p>
58	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々々の状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	<p>休息や睡眠は自由にしています。個人の椅子などを食堂に配置しゆっくりしていただけるよう配慮している。</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>食後のカップ拭きや廊下の掃除など危険なく楽しめる程度に行っています。</p>		<p>決められた時間以外にも自由にお話をしながらお茶飲みができるよう努めていきたい。</p>
60	<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>本人の希望により一定額をお渡しし、自由に使えるようにしている。</p>		
61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>本人の希望により買い物や美容院などへの支援をしている。。</p>		<p>ウインドショッピングを楽しみたい方にボランティアなどを活用していきたいと思っています。</p>
62	<p>普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かける機会をつくり、支援している</p>	<p>故郷などへ家族と共に出かけています。</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話の取次ぎなどは積極的に行っており、時間帯により自由にかけられるよう支援しています。		
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	笑顔の対応、挨拶に心がけています。リビングなどでゆっくりお話できるようお茶などをお出ししています。		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	現在身体拘束を必要とするケアにいたっていない。「身体拘束廃止要綱」を守り拘束しないケアに努めている。		勉強会を設け正しい理解と認識を学んでいく。
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	すぐに階段があるため鍵をかけたケアにいたっている。		家族会で取り上げて検討して行きたい。
67	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	スタッフが見通せる所に位置しさりげなく状況を把握し見守る配慮をしている。		
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	洗剤など目の届かないところへ置き誤飲を防いでいる。スタッフがいつも目が届くよう取り組んでいる。		
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	夜間、職員と一緒に行動していただき転倒しないよう心がけている。事故報告書を全員で回覧し、今後のケアの方法につなげていく。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	異変の前兆に気づいたときの対応法などをスタッフ間で共有認識をしています。		応急手当などの勉強会を行っていききたいと思います。
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	各種の訓練は定期的に行っています。運営推進会議においてその報告も行っています。		地域の人びとへの働きかけは自治会などを通して今まで以上に行っていききたい。
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	状態の変化に応じて常に家族と話し合いをもっている。スタッフがはその状態によってケアを変えるよう対応している。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	スタッフ間の申し送りなどで情報の共有化に努めている。		
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	前回と再診の処方箋をファイルし見やすいところに置き、薬の本も一緒に置いてある。症状に変化が見られた場合は訪問医に連絡し対応が取れるようになっている。		
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	規則正しい排便を促すためバイタル表に量や状態を記入し、水分摂取も積極的に働きかけ、散歩なども行っている。		
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後は磨きとイソジンのうがいをおこなっている。義歯の清掃も行っています。月4回の口腔衛生士の指導を受けている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士のカロリー計算による献立と毎食の摂取量をチェックしている。水分は時間を決めて定期的に飲んでいただけるよう心がけています。		健康診断の際に貧血などの症状に対し食事で摂取しづらい場合には補助食品を検討していききたいと思います。
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	外出時のうがい、手洗いを実施している。異変があったときにはどクターや看護師と相談し指示をおおいでいる。		
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	毎日、カップ類やふきんの消毒を行っている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	イベント時の写真や季節の置物を飾り親しみやすい雰囲気作りに心がけています。		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者の作品などを壁に張っている。その季節にふさわしい人形や飾りつけを行っている。		バックグラウンドミュージックなどを常にながす工夫をしていきたい。
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	個人の使いやすい椅子を食堂に置きゆっくりくつろいでいただいています。ソファ、ベンチなども配置しています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入り口に暖簾をかけ、たんすやベッドは本人が使っていたものを使用している。写真なども壁に貼っている。		冬場の感想を防ぐための対策を考え、取り入れていきたい。
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	早朝や清掃の時間に換気を行うようにしています。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下やトイレ、浴室などに手すりを配置している。		
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	居室の入り口に名前を張ったり、暖簾をかけたりして混乱を防いでいる。		
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	出入りにベンチなどを置き他の階の利用者との談話を楽しんでいただいている。		

. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くいない	
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が	
		職員の2/3くらいが	
		職員の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の2/3くらいが	
		家族等の1/3くらいが	
		ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

日々その人らしさを失わず、ゆったりと安心できる介護に努めています。一人ひとりの状態によりその人にあった適切な対応に心がけています。スタッフの質の向上に努めています。